

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。レイアウトの時にはレイアウトを変えるなどの工夫をして環境を整えております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7	1	個別の療育と集団活動の場を分け、児童に分かりやすい環境を整えております。入口に段差があるため出入りの際は細心の注意を払っております。	玄関や部屋と部屋の境目に段差があるため、児童が怪我をしないよう細心の注意を払っております。今後必要に応じてバリアフリー化を検討してまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		必要最小限のものを設置し、過ごしやすい環境を整えております。感染症予防のため、施設内、送迎車、玩具の消毒をこまめにおこなっております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	必要に応じて個別の部屋を使用し、レイアウトを変更したりして活動内容に合わせた空間を整えております。	今後も児童の状況や活動内容に応じて個別の部屋を使用するなど、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日の朝礼時や、月一回のリフレクション会議にて振り返りや業務改善に努めております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に一度のアンケート調査での集計内容を職員間で共有しながら業務改善に努めております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日の朝礼時に職員間で話し合いをして改善に努めております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		オンライン研修や、事業所内研修などで積極的に研修の機会を確保しております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	支援プログラムを作成し、公式Webサイトに公表しております。	今後も支援プログラムの内容を分かりやすく周知できるように努めるとともに、必要に応じて内容の見直しをおこない、より適切な支援の提供に努めてまいります。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		個々の児童の発達段階と取り巻く環境の情報を収集して分析するだけでなく、児童や保護者様のニーズ・課題を適切に把握したうえで児童発達支援管理者が中心となって作成しております。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童発達支援管理責任者を中心に職員全員の共通理解の下で児童の最善の利益を考慮しております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画に基づき、職員全員で共通認識を持って目標に沿った支援を提供しております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況（健康・生活・言語・コミュニケーション、人間関係・社会性、認知・行動・運動・感覚等）を適切に把握し、日々の療育へ繋げています。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域連携」「地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		こどものニーズや保護者様の意向に合わせて「発達支援」「家族支援」「子育てサポート支援」「移行支援」等の項目別に具体的な達成目標、支援内容（内容・支援の提供手段のポイント・5領域との関連性等）を設定しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	児童の特性や課題に応じて活動プログラムを話し合い、常にチームで立案しております。	児童の特性や課題に応じて活動プログラムを話し合い、チームで立案してまいります。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動内容は発達段階に応じて定着を図るために繰り返しおこなっていることありますが、イベントや季節の製作も取り入れることで固定化しないよう努めております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		1人ひとりの特性に応じた目標を設定し、個別活動、集団活動を組み合わせ支援をおこなっております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	毎朝必ず打合せをおこない、支援の内容や、役割分担、環境設定などをおこなっております。	支援開始前に職員間で情報共有をおこない、その日の支援内容について連携しながらおこなってまいります。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援終了後または翌日のサービス前に支援内容の振り返りをおこない、情報共有をおこなっております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援内容やその日の体調などを記録し、気になったことは改善や検証に取り組みしております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングをおこない、現状の把握をして見直しの必要性を判断しております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		ガイドライン総則の基本活動を適切に選択し複数組み合わせ保護者のご意向や利用者の課題を判断したうえで支援内容を設定しております。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8		日頃から児童がどちらが良いか選択できるよう複数の教材を準備しております。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者が参画しております。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	担当者会議に参画し、助言を受け連携に努めております。	医療機関との連携がないため、今後医療機関と連携も検討していきます。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者から学校行事や時間変更を教えたいただき学校との情報共有や連絡調整をおこなっております。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		就学前には保護者様のご意向を踏まえ、担当者会議の場を通して小学校との間で情報共有や相互理解を図っています。	就学前には、保護者様のご意向を踏まえ、より丁寧に情報共有や相互理解を図ってまいります。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	今後、利用児童が卒業を迎える際には、書類を整備し、移行先へ必要な情報提供をおこなってまいります。		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	担当者会議に参画し、助言を受けながら連携に努めております。		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	市民センターとの交流をおこなっております。		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	参加できる際には積極的に参加しております。		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や送迎時に療育の様子や状況の情報共有に努めています。		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者からご質問や相談があれば職員間で話し合いアドバイスしております。	児童の特性や保護者様のお困りごとに対し、個別に対応方法の提案や助言を今後もおこなってまいります。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に重要事項説明書に基づき説明をおこなっています。		
	37 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		児童の最善の利益を優先考慮し、児童や家族の意向を確認する機会を設けております。		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		放課後等デイサービス計画を示しながら説明を行い、同意を得ております。		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時や電話等で相談を受けた際には随時対応をおこない、日頃から相談しやすい環境を整えています。		
	40 父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	保護者のご意見に配慮しながら交流機会を検討してまいります。	今後は保護者様のご意見をうかがいながら、保護者様参加のご意志をつながい、行事や保護者様同士や保護者様と職員との交流機会を検討してまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		ご相談や申し入れについては迅速に対応し、全職員で情報を共有していけるよう体制を整えております。		
	42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		季節ごとのCOMPASS日より公式Webサイトのブログ、事業所からは毎月子どもカレンダーを発行しております。		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	専門用語などを避け、分かりやすく丁寧な情報伝達を心がけております。児童の日々の様子を連絡帳でお伝えする他、送迎時には保護者様と直接お話をしより詳しい内容をお伝えしております。	今後も児童や保護者様の状況に応じた分かりやすい説明や情報伝達に努めるとともに、職員間で情報共有をおこない、より丁寧な対応ができるよう努めてまいります。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	感染症予防の観点から今年度も地域の方をご招待する機会を設けることができおりません。	今後は感染状況や保護者様のご意見を伺いながら、地域の方との交流機会について段階的に検討してまいります。	
	非常時の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルはすぐ確認できるよう入口に掲示しております。また、避難訓練は定期的に実施しております。	避難訓練は定期的の実施し、今後も周知、徹底してまいります。
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、年間計画を立て、地震・火事・風水害などの避難訓練を実施し職員間の意識づけや連携を図るよう努めております。	
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		アセスメントの際に保護者様から聞き取りをおこない、児童の服薬や予防接種・発作等について全職員が把握しております。	
		49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アセスメントの際に保護者様から聞き取りをおこない、児童のアレルギーについては全職員が把握し、指示書に基づいて対応しております。	
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、事業所・設備・施設外環境の安全点検をおこなったり、各種マニュアル、計画を策定して研修や訓練を実施したりしています。	
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		8		何らかの災害が発生した場合の避難先を契約時や書面でお知らせしたり、災害等を想定した避難訓練を定期的におこなった内容を報告したりしています。		
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		8		ヒヤリハットが発生した場合、詳細に記録し、共有しています。事例集は職員間で共有し、定期的な振り返りをおこない、再発防止と、事故の未然防止に努めています。		
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		8		虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修および身体拘束適正化研修を全職員が受講しております。		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		8		利用契約書には身体拘束の禁止を明記しており、生命または身体の保護のためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、事前に保護者様の同意を得ることとしております。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。